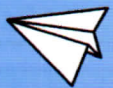


小金井NPO法人連絡会企画シンポジウム

# 3.11 子どもたちは？

その時 私たちはこう動いた！

## パネリスト



**神林 俊一**（一般社団法人フレーワーカーズ 理事・事務局長）



**渡部 栄子**（NPO法人ホームスタート・ピッコロ オーガナイザー）



**高橋 亜美**（アフターケア相談所 ゆずりは 所長）

## ファシリテーター



**森田 眞希**（NPO法人 地域の寄り合い所また明日 代表）

**2017年3月11日（土）16:00-18:00**

**会場：小金井 宮地楽器ホール 1階小ホール**  
（JR武蔵小金井駅 南口駅前）



参加費無料・お申し込み不要

主催／小金井NPO法人連絡会、小金井市

〈お問い合わせ〉 小金井ボランティア・市民活動センター TEL：042-387-0011  
〒184-0004 東京都小金井市本町 5-36-17 9:00-17:00（土・日・祝日休み） FAX：042-386-1294

# 3.11 子どもたちは？

その時 私たちはこう動いた！

小金井 NPO 法人連絡会企画シンポジウム

パネリスト

## 神林 俊一

一般社団法人プレー  
ワーカーズ理事・事務局長、  
NPO 法人日本冒険遊び場づくり

協会東北地域運営委員、こども ing 副代表。

自身がいじめ・不登校の渦中にいるとき、冒険  
遊び場に出会い、居場所を見つける。

2010 年度、東京都次世代育成支援行動計画にて、  
チャイルドファシリテーターとして子ども 300 人  
大人 100 人をヒアリングし、普通の町中に心の貧困  
を抱える多くの存在を知る。

東日本大震災直後、気仙沼市内の大規模仮設住宅  
近くに開設された冒険遊び場「気仙沼あそびーばー」  
で、常駐スタッフ（プレーワーカー）として、被災  
した子ども・若者との日々を送る。のち、NPO 法人  
日本冒険遊び場づくり協会宮城県北部長を務め、  
日本ユニセフ協会との協働により宮城県内外の仮設  
住宅、復興公営住宅近くに遊び場の出前をしたり、  
住民主体の遊び場運営の支援をしている。

2015 年、子どもが関わるすべての場所へプレー  
ワークの視点を伝えていくために、一般社団法人  
プレーワーカーズを設立。その他、気仙沼市大谷  
幼稚園評議委員、地方創世戦略会議委員、気仙沼市  
子ども子育て会議委員など歴任。

パネリスト

## 渡部 栄子

NPO 法人こころの森、元理事長。

ファミリー・サポート・センター事業

アドバイザー、介護サポートセンター

及び障がい者自立支援コーディネーター、

ホームスタートオーガナイザーとしての勤務を経て、2015 年 5 月、  
福島県会津坂下町より清瀬市に住居を移し、ピッコロ事務局勤務。  
翌年 5 月、事務局長に就任。

その他、福島県男女共同参画審議委員、福島県子ども子育て会議  
審議委員、ふくしま子育て支援ネットワーク会津地区世話人、福島  
ホームスタート推進協議会会長など歴任。2015 年より清瀬市地域  
福祉協議会委員、2016 年より清瀬市健康センター運営協議会委員。



ファシリテーター

## 森田 眞希

上智社会福祉専門学校  
保育科を卒業と同時に、  
同学校社会福祉主事科卒業の



森田和道と結婚。病院、保育園、学童保育所に  
勤める傍ら、子どもの権利に特化した NGO の  
活動やネパール、タイへの現地活動に参加。

2001 年 4 月、夫や仲間たちとともに NPO 法人  
子どもとお年寄りの家「鳩の翼」設立、2006 年  
3 月まで代表理事に就任。2006 年 6 月、夫婦で  
NPO 法人地域の寄り合い所「また明日」設立、  
代表理事に就任。同年 12 月「小さな保育園虹の  
おうち」、「寄り合い所」、「また明日デイホーム」  
の事業を開始、2013 年 11 月より、認可保育  
「また明日保育園」を開所、赤ちゃんからお年  
寄りまで一つ屋根の下で過ごす、共生ケアを  
行っている。

パネリスト

## 高橋 亜美



日本社会事業大学社会福祉学部卒業。

2002 年より社会福祉法人子供の家が

運営する自立援助ホームあすなる荘の

援助スタッフとなる。2011 年、同法人が

開所したアフターケア相談所ゆずりはの所長に就任。

著書に『愛されなかった私たちが愛を知るまで』（共著、かもがわ  
出版）、『施設で育った子どもたちの居場所「日向ぼっこ」と社会的  
養護』『子どもの貧困白書』『施設で育った子どもの自立支援』（共に  
明石書店、分担執筆）など。